

会 議 録

会議名	平成15年度第4回宇都宮市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成16年2月27日(金)午後2時00分から3時00分
開催場所	宇都宮市役所本庁舎 14A会議室
出席者	【委員】今井恭男, 阿久津均, 金子和義, 篠崎光男, 赤塚朋子, 中尾久, 金枝右子, 神宮由美子, 廣田宏子, 湯澤博, 熊本範夫, 手塚修, 岡田季代子, 安場博 【事務局】森宇都宮市環境部長, 他15名
公開・非公開	公開
傍聴者数	なし
議題	1 宇都宮市ごみ処理基本計画の改定及び 一般廃棄物処理手数料の見直しについての答申 2 平成16年度宇都宮市一般廃棄物処理実施計画(案)について 3 その他
会議結果	議題2 審議会で出された意見等をふまえて, 「平成16年度宇都宮市一般廃棄物処理実施計画」をとりまとめていく。

発言要旨【議題3関係】	
安場委員 (質問)	・ 収集運搬で一番困っていることはなにか。
久保井総括 (回答)	・ 資源物の持ち去り行為が多くて困る。要綱は作成して取り組んでいる。量の把握が正確にできないといった問題が出てくる。
今井会長 (質問)	・ カラスネットは, 何枚くらい配付しているのか。
清水主幹 (回答)	・ 14年度に100枚, 15年度に550枚, 16年度は550枚の配付を予定している。
湯澤委員 (質問)	・ 中間処理施設の設置許可について詳細を教えてください。
津田主幹 (回答)	・ 建設にあたっては, 環境アセス, 規模, 設備内容等の審査があり, 4~5年かかる。必要性の問題からすると, 許可がおりるのは, 大変。
神宮委員 (質問)	・ 1ページの計画処理量に, 白色トレイとあるが, 市で処分する計画があるのでしょうか。
久保井総括 (回答)	・ スーパーなどで回収しているものとは別に, 地区市民センターや生涯学習センターなどに回収ボックスを設置し, 回収している。 ・ リサイクル処理は, スーパーのルートとは別ルートで, 指定法人にまかせている。
金子委員 (質問)	・ 計画処理量が213,500tとあるが, 過去の推移を教えてください。 ・ 学校給食生ごみの飼料化試行事業の現状を教えてください。 ・ コンポスト容器及び機械式生ごみ処理機設置の助成, 予算減になっているが, 来年度どのように変わるのか。
久保井総括 (回答)	・ 計画処理量は, 実績で, 13年度が204,700t, 14年度が206,900tである。

岡本統括 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食生ごみ飼料化試行事業は、13～15年度の3カ年の試行事業である。 ・ 試行事業の結果、飼料成分や、肉質への影響については、市販のものと遜色ない。 ・ 今後、流通させていくための課題などを検討するため、1年継続して実施していく。 ・ コンポスト容器及び機械式生ごみ処理機設置費補助金は、機器の販売単価が、補助金制度を設置した頃よりも低額になってきており、補助金額で全額賄える機器が多くなってきたため、見直しを図り、来年度から補助率を1/2にする予定である。
金子委員 (質問)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飼料化試行事業では、量的にはどれくらいの飼料をつくっているのか。
岡本統括 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間の生ごみ50tから、10tの飼料を作っている。
金子委員 (意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10tだと、1軒の養豚農家が使う量である。 ・ できれば、今後、レストランなどの生ごみの収集も視野に入れていってほしい。
岡本統括 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飼料製造には、油脂分(油揚げなど)を取り除くなど、分別精度の確保が重要である。 ・ 分別精度を確保するための手間をお願いすることは難しく、飼料の流通などとあわせて、今後の課題として研究していきたい。
金子委員 (意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養豚農家が飼料を使う時、混ぜる作業は手間がかかる。 ・ そのまま使えるような飼料を作らないと、今後拡大等を検討していくうえで、難しいかもしれない。
安場委員 (質問)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市販のものと価格差はどれくらいあるのか。
金田GL (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市販のものの10倍近い価格である。
岡田委員 (質問)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資源物として分別して出してあっても、燃やされていると聞くと、市ではどのようにしているのか。
津田主幹 (回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙類に、感熱紙などが混じっていた場合や、布類に、繊維が切れて再生できないものが混じっていた場合は、焼却処理しているが、資源物はリサイクルのルートで処理している。